



2018年9月18日

アウディ ジャパン株式会社  
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598-106  
アウディコミュニケーション センター

## アウディ、Audi e-tron の発表とともに電動化攻勢を開始

- 2025年までに12の電気自動車を発表
- すべての主要な市場セグメントに電動化モデルを投入
- プラグインハイブリッドのラインナップを拡大

2018年9月18日、インゴルシュタット/サンフランシスコ：アウディブランドは、Audi e-tron を世界初公開したこと皮切りに、電動化攻勢を開始します。2025年までに、アウディは全世界の主要な市場において、12の電気自動車を発表し、電動化モデルの販売台数を全体の約1/3にすることを目指しています。電動化ラインナップにおけるSUVには、今回発表されたAudi e-tron と、2019年にデビューするAudi e-tron Sportbackが含まれます。AvantやSportbackといった、従来のボディレイアウトを持つ一連のモデルも用意されています。これらのラインナップは、コンパクトからフルサイズクラスまで、あらゆる市場セグメントを網羅します。

AUDI AG 技術開発担当取締役のペーター・メルテンスは、次のように述べています。「Audi e-tron は、私たちの電動化戦略の出発点として、間違いなくアウディ史におけるハイライトとなるクルマです」コンパクトモデルから大型サイズモデルまでの全セグメントに電気自動車を提供するためには、合計4つの技術プラットフォームと製品ファミリーが必要です。テクニカル開発と他のグループブランドが緊密に連携し、財務的な成功も視野に入れながら、世界規模で相乗効果を発揮しています。

Audi e-tron と Audi e-tron Sportback は、アウディのモジュラー・ロングチューディナルプラットフォームのコンポーネントを使用しています。このコンポーネントと、主に駆動システム分野における革新的な技術の数々によって、電動 quattro 4 輪駆動を備えた独立した製品ファミリーを生み出すことに成功しました。最大 150kW の急速充電と長距離ドライブに対応したこのクルマは、クラスのベンチマークとなる存在です。

アウディは、2018年末に別のeプラットフォームを採用した最初のコンセプトモデル、Audi e-tron GT concept を発表する予定です。フラットなフロアアセンブリーを備えた非常にダイナミックなこのクーペは、ロサンゼルスオートショーでデビューします。このクルマの技術は、ポルシェと協力して開発されました。Audi e-tron GT concept のデザインとキャラクターは、完全にアウディのDNAを受け継いでいます。

アウディとポルシェの開発部門のもう一つの共同プロジェクトが、プレミアムプラットフォームエレクトリック (PPE) です。これは、B~D 量販セグメントをカバーする、アウディの複数の電気自動車モデルファミリーの基礎となります。

ここでは、SUV 及び従来型ボディタイプの両方のコンセプトが計画されています。PPE の強みは、電気自動車専用開発されたことです。これは、重量、パッケージング、およびボディのプロポーシオンに関して利点を発揮します。

フォルクスワーゲングループのいくつかのブランドは、特に大量生産される A セグメントにおいて、一連のアウディの電動化モデルの基盤となるモジュラーエレクトリフィケーションプラットフォーム

(MEB) の開発に協力しています。このうちの 1 つは、最重要な単一市場である中国の要件に合わせて開発されています。

アウディはまた、プラグインハイブリッド車のラインナップも大幅に拡大する予定です。技術開発担当取締役のメルテンスは、次のように述べています。「将来的には、事実上すべての市場セグメントに、電気モーターと内燃エンジンを組み合わせたモデルが導入されます。それらのクルマは、コンセントから充電することができます」

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。